



桐

K

I

R

I

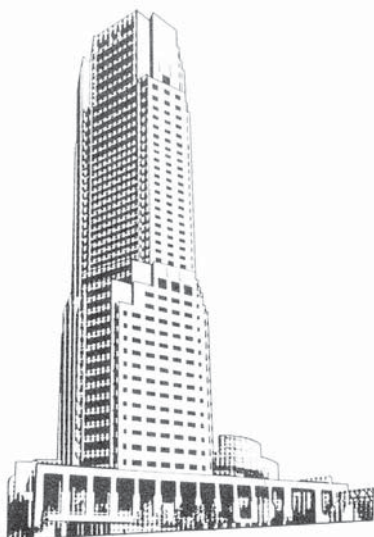
平成14年度同窓会 総会および懇親会のご案内

本年度の総会を、3年ぶりに下記のとおり、懇親会と合わせて開催いたします。

本年も、これまで同様ご出席いただいた会員の皆様にご満足いただけるよう、盛大、且つ楽しい懇親会を開催すべく、役員一同で万全の準備をいたしております。

会員の皆様におかれてましては、クラスメイト、先輩、後輩へと共々に幅広くお声を掛け合って、多数ご参加ください。

なお、当日は、ご同伴でのご出席も大歓迎いたしますので、既婚者の方は奥様と、独身者の方は恋人、ガールフレンドとご一緒にご参加ください。多数の会員のご出席を、心からお待ち申しあげております。



※会場案内図は次ページに掲載

記

○日 時 平成14年7月20日（土）

総 会 午後5時から

懇 親 会 午後6時から

○場 所 「セルリアンタワー東急ホテル」

（東急東横線・田園都市線、JR山手線・埼京線、地下鉄銀座線・半蔵門線 渋谷駅下車 徒歩5分）

総 会 「朝 霧」地下2階

懇 親 会 「ボールルーム」地下2階

○会 費 平成14年 3月卒～平成11年 3月卒 2,000円
平成10年 3月卒～平成 5年 3月卒 3,000円
平成 4年 3月卒～昭和58年 3月卒 5,000円
昭和57年 3月卒以前 8,000円

※同伴出席者の女性分会費は、本人会費の半額とさせていただきます。

○内 容 総 会 会務報告、決算・予算、役員改選等
懇親会 酒・料理・美人コンパニオンの用意
有り

バンドの生演奏

ショータイム（女性演歌歌手）

表彰（親子二代卒業生）

ビンゴゲーム（景品を多数用意）

平成13年度会務報告



同窓会会長

安 達 富 夫

(昭和43年 3月卒)

我が国のみならず国際社会においても、政治、経済とも混迷と停滞の長いトンネルからなかなか抜けきれない昨今ですが、会員諸兄におかれましては、お元気にご活躍されてますでしょうか。

本年、まず会員の皆様にご報告申し上げることは、昨年4月17日に関口敏郎先生がご逝去された後、学校法人目黒学院の理事長に関口隆司先生がご就任されました。そして、本年4月から須藤先生の校長ご退任に伴い、目黒学院高等学校の校長には関口隆司先生が、目黒学院中学校の校長には飯野泰男先生がそれぞれご就任されました。

まず、この1年間の経過報告等をさせていただきます。

母校の行事につきましては、関口敏郎先生の学園葬、卒業式に同窓会から代表が出席させていただきました。

次に、本会の会員数について申し上げますと、去る3月8日の卒業証書授与式を以て、新たに281名の新会員を迎え、会員総数では28,190名を数えるにいたりしました。このうち、本年の親子2代に亘る卒業生は、5組10名でありました。(5頁記載)

昨年6月からインターネット上に開設しました本会のホームページについては、約1年で1,000件のアクセス件数でした。会員諸兄からは、ホームページに対するご感想、同窓会へのご意見、ご質問等と住所等の変更連絡を多数いただきました。誌上を借りて御礼申し上げます。

同窓会では、関口敏郎先生の学園葬「お別れの会」のご案内とその当日の模様を新着情報として掲載いたしました。会員の皆様からすると、ホームページの運用としては、まだまだ不十分の思いが多々あるかと思われまふ。今後とも、ご意見、ご協力とご活用をよろしくお願い申し上げます。

次に、同窓会賛助会費の納入については、本年も多数の会員からのご賛同と深いご理解をいただき、平成13年度は7頁にご芳名記載のとおり158名の方々から納入をいただきました。ここに、謹んでお礼を申し上げます。

ところで、この賛助会費については、同窓会の危機的な財政状況を打開するため、昭和63年開催の総会に

「セルリアンタワー東急ホテル」案内図



て会員諸兄のご承認をいただき、平成元年から毎年卒業後22年を経過した会員を対象として年額5,000円のご協力をいただいております。

以来、この13年間にご協力くださった方々は延べ約2,040名、金額では1,000万円を超える結果となっております。

一方、この間には従来、毎年開催してきた総会・懇親会を隔年開催、そして3年ごとの開催へと変更し、経費節減を図ってきたことも大きく功を奏して、年々在校生から納入していただく会費収入が減少するなか、当面、財政の危機的な状況を脱することが出来ました。ここに改めて、これまでご協力いただきました会員諸兄に、厚く御礼申し上げます。

そこで、過日の役員会にて中長期にわたる本会の財政見通しを検討した結果、これまでの賛助会費について見直しを行い、本年から一口1,000円で全会員を対象として、ご協力を仰ぐことにいたしました。この主旨は、今後も会費収入の増加が見込みにくい状況下で、本会財政の安定化を図る方途として、お一人の会員が5,000円の賛助会費を納入してくださることも大事で

すが、より多くの会員が同窓会を支えてくださる方向へ持って行くため、一口の金額を下げ納入対象者を全会員に拡げようということです。よって、本年から本誌の発送とともにすべての会員に、賛助会費（同窓生年会費）の払込通知票を同封させていただきましたので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、口数は任意ですので、お志のある方は、是非、複数口のご協力を重ねてお願い申し上げます。

さて、本年は、本誌1面にてご案内のとおり、来る7月20日（土）に渋谷の「セルリアンタワー東急ホテル」において、平成14年度の同窓会総会・懇親会を盛大に開催する予定です。今回は、特に卒業後50年以上を経過した会員（昭和27年以前の卒業生）と、卒業30年目（昭和47年卒業）、卒業20年目（昭和57年卒業）および卒業10年目（平成4年卒業）の会員の同期会を兼ねて開催いたしたく考えておりますので、該当される会員諸兄におかれては、友人とお誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。

最後に、会員諸兄の益々のご健康とご繁栄を祈念申し上げて、会務報告とご挨拶といたします。

ご挨拶と学校の動向



理事長・校長

関 口 隆 司

本年度から、須藤亘啓先生の後任として目黒学院高等学校長に就任いたしました。また、目黒学院中学校長には飯野泰男先生が就任されました。須藤前校長先生は平成2年以来12年間にわたり、創立50周年記念事業・目黒学院中学校の設立・高等学校機械科の廃止等、目黒学院の更なる発展のために目覚ましいリーダーシップを発揮されてまいりました。私立学校を取り巻く環境はますます厳しさを増す昨今ですが、須藤先生の築かれた土台に立脚して新たな飛躍のため全力を注ぐ決意であります。同窓生の皆様のより一層のご協力、ご鞭撻を賜りたく存じます。

以下に若干のご報告を申し上げます。

1. 学校行事

平成13年度の目黒学院では、6月9日に関口敏郎前理事長先生の学園葬が行われ、また9月のアメリカ同時多発テロ事件の影響で、10月に実施予定であった高校2年生の修学旅行及び中学3年生のアメリカ研修旅行が延期された以外は、順調に学校行事・教育活動が行われました。関口敏郎先生の学園葬には、同窓生の皆様をはじめ多くの関係者のご参席を賜りました。敏郎先生の生前に賜りましたご厚誼に、あらためて厚く御礼申し上げます。また、高校2年生の修学旅行は、訪問地を北海道に変更の上で3月に実施済み、アメリカ研修旅行は、若干のコース・日程を変更した上で8月に実施予定となっております。

2. 教職員の異動

広部晴男先生、渡辺裕司先生、大島三十四先生（以上数学）、西野洋子先生（家庭科）が定年退職されました。また、松永明先生（国語）、安河内麻里子さん（事務）が退職されました。なお、西野洋子先生は本年度も非常勤講師として生徒指導にあたっております。

一方、宮崎長康先生（国語）、中島進先生（英語）、阿部幸彦先生（数学）を新任でお迎えいたしました。

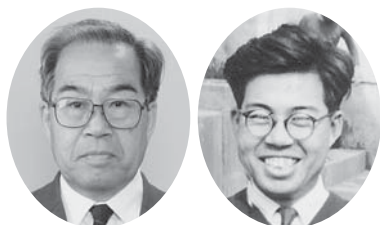
現在の専任教員数は63名、専任職員数は9名となっております。

3. 大学進学状況

本校のホームページに平成14年度の大学進学実績を掲載しております。一橋大学に2年連続合格、現役生の筑波大学や国際基督教大学への合格等、着実に実績

を挙げているところです。在校生のほとんどが大学進学希望であり、生徒の志望進路実現のための学力増強に教職員一同真剣に取り組んでいく所存です。勉学であれスポーツであれ、真摯にかつ夢中で取り組み、自分自身の考え方にこだわりを持った「有言実行」の男子を育成したいと考えております。

ご 挨拶



前校長

須 藤 亘 啓

(現在の須藤先生) (昭和27年当時の須藤先生)

昭和26 (1951) 年4月、目黒高等学校の数学・工業の教員として教員生活をスタートして以来、途中、1年半の工場勤務 (機械装置の開発・設計業務) を経験しましたが、母校である都立航空工業高等専門学校を経て、創立50周年を迎えた平成2 (1990) 年、教員としての原点である目黒に戻り、目黒学院中学校・高等学校に平成14 (2002) 年3月まで、教育現場で過ごすことが出来ました。在職中、同窓会の皆様から、様々な協力ご支援を戴きましたことに、心よりお礼申し上げます。

就任当時の校舎は、全て木造二階建、第1・第2校舎と実習棟のこじんまりとした学舎で、家族的な雰囲気 학교でした。製図はT定規と三角定規で製図器械はなく、計算は計算尺によるアナログ思考です。旋盤はベルト掛けでしたし、図書館というより図書室という感じで、LL教室はまだ完成していませんでした。生徒と年齢が近いだけで、教師としてやって行けるのだろうか、大きな不安を抱き、自信も持てないままに、教員生活を始めたことが、つい昨日のように思い出されます。

目黒高等学校から、目黒学院中学校・高等学校まで、兼務した非常勤講師を含めると、通算29年になる目黒での教員生活が、私の人生の本道でした。自分の母校で空気圧回路設計法・教育用機械設計ソフト開発やパソコンCADの導入など、専門とする設計工学を教え

たことや、他での非常勤講師経験は教育実務を累積した脇道だったと思えてなりません。目黒を離れていたときも、クラブ活動や入試情報などの新聞記事に注目していました。一時、所属する設計工学会事務局が目黒警察署前のビルにありましたので、理事会に出席する前、時間にゆとりがあるときは学校に立ち寄り、前理事長や知合いの先生方に挨拶するなどしておりました。何時も「目黒高等学校」が私の脳裏から離れることはありませんでした。

平成2 (1990) 年4月からの12年間は、学校の管理運営経験の無いに等しい私は、同窓会・保護者の皆様のご支援とご鞭撻により、どうにか、無事に勤めることができました。

ほぼ、半世紀前からのことを思い返すと、感慨無量です。

着任後間もなく、前理事長がスポークのタイヤのオーステインで登校されました。車輪を体裁良くみせるために、スポークをカバーする丸いお皿のようなホイールカバーを薄い鋼板で作るということで、その時、担任をしていた生徒の父親が経営する工場にお供しました。そこで見たのは、木型に倣って軟質鋼板を絞り成形する「へら絞り」で、教科書にも載っていない始めて見る工作法でした。何故、前理事長が「へら絞り」を承知していて、しかも、生徒の保護者の特殊な加工技術のことをご存知だったのか、今は知る由もありません。つい先頃、小泉総理がパフォーマンスで、大田区内の事業所で「へら絞り作業」を真似ている映像が放映されていました。ふと、50年近く前にそんな加工法について、教えて戴いたことを思い出しました。

登山もカメラも目黒で覚えました。学校の暗室で現像・焼付けを試行錯誤の上、どうにか出来上がったときの気持ちは、今では味わえない醍醐味でした。山岳部に同行し、北アルプスの裏銀座コースへの急坂を夢中で登り、披露困憊の後で稜線を行く壮快さ、遥かに見える槍が岳を写真に撮りました。「晴天の山では濃いフ

フィルターを使い、スローシャッターで絞り込み、カメラを動かさないこと」と全く素人の私に、アドバイスして下さった前理事長の言を思い出し、シャッターを切りました。槍は形から判りましたが、他は全く分かりませんでした。後で前穂高・焼岳、西鎌尾根から槍が岳にいたる裏銀座コースに連なる山々が、鮮明に写っていることを知りました。以来、今日まで、夏山登山を細々ですが続けています。

目黒学院では国際交流・海外研修として、ニュージーランドでの生活体験の旅に加えて、修学旅行で韓国・ハワイに行き、特進コースの2年でオーストラリアの

メルボルンで語学研修、中・高一貫コースでは、中学校の3年でアメリカ研修、高校の1年で東南アジア（マレーシア・シンガポール・中国）研修と多岐にわたる内容で展開されています。そのほとんどに実地踏査や引率の機会を得て、個人的にも貴重な体験を積み重ねることが出来たことにも感謝しています。

振り返ると、学校行事での様々なことが脳裏をよぎります。目黒高等学校三十年誌・創立50周年記念誌『時を航って』にあるように、これからも着実に歴史を刻み、目黒学院中学校・高等学校が、ますます発展することを願い、筆を置くことに致します。

◆恒例「親子二代卒業生」ご紹介◆

外 山 昇（父）昭和49年3月卒
知 幸（子息）平成14年3月卒

岡 田 幸 夫（父）昭和46年3月卒
樊 大（子息）平成14年3月卒

小 林 孝 之（父）昭和52年3月卒
智 晃（兄）平成11年3月卒
謙 太（子息）平成14年3月卒

土 屋 昌 雄（父）昭和45年3月卒
光 生（子息）平成14年3月卒

松 林 正 英（父）昭和51年3月卒
誠 治（子息）平成14年3月卒



前回懇親会での親子2代卒業生の表彰の様様

機械工具、鋌螺、工作機械、OAF A機器

株式会社 マツ

代表取締役 松本 誠治

本社／東京都品川区戸越3-4-18
〒142-0041 TEL 3788-1111 (大代表)

バッチ ● カップ ● 記念品

多少にかかわらず一度御相談下さい。

宝商会 (株) 技寶堂分店

代表 矢島 陸雄 (22年3月卒業)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1丁目8番地9号
ニューシティーハイツ飯田橋504号
TEL (3239) 2 1 5 6

◆ クラス会開催報告 ◆

石 渡 博 巳 (昭和32年3月卒)



第17回目のクラス会を平成13年10月13日（土）PM5:00～9:00、中目黒の「大判」（やきとり居酒屋）に於いて、参加者13名で開催しました。今回を盛り上げてくれたのは、前沢君です。第10回目以来、21年ぶりの再会です。内山君より「みんなこの人誰だかわかるか」と声があり、みんながとまどっていると、内山

君より「前沢君だよ」と言われて、みんなは驚きました。

それでも1分とたたない内にうち解けて、前沢君を中心に話がはずみました。また、後から遅れて4年ぶりに、広瀬君もみんなの前に元気な顔を見せてくれました。

席上、鈴木君より「関口理事長の『お別れの会』に、だれか参列した人はいるのか」との声がありましたが、だれもおりませんでした。鈴木君だけの出席となり、誠に申し訳ありませんでした。心から故 関口理事長のご冥福をお祈りいたします。

懇談は尽きる事なく進み、次回は旅行をしたいとの声も出て、記念写真を撮り、来年の再会を約束して解散しました。

今回は、クラスメイトの住所録を整理しました。そこで目黒学院卒業生力士「玉ノ国」の写真も、出席できない人や欠席した人全員に、郵送しました。

（筆者は写真前列の右から2人目）

油圧の総合メーカー

YUKEN

油 研 工 業 株 式 會 社

代表取締役会長

結 城 重 一

（第1期卒業）

本 社 神 奈 川 県 藤 沢 市 宮 前 1 番 地

TEL (0466) 23-2111

営業本部 東京都港区芝大門1-4-8 清和ビル

TEL (03) 3432-2111

公認会計士、中小企業診断士
税理士、司法書士

宮川良雄事務所

所 長 宮 川 良 雄

（第1期卒業）

監査、税務、登記
企業診断、相続税

〒152-003

東京都目黒区碑文谷2丁目7番17号

TEL 03-3716-7666

FAX 03-3712-1365

同窓会賛助会費

納入者のご芳名

平成13年度分の賛助会費として、本年3月末までに納入のあった方は、
下記の158名の方々です。ここに、謹んでご報告申し上げます。

●印は新規納入者

ア	相	原	伸	次	●大	保	篤	雄	古	賀	正	勝	夕	高	橋	初	男	ハ	橋	爪	稔	ミ	水	谷	清
青	山	間	正	和	●大	串	敏	彦	小	佐	田	郎	●高	高	橋	勇	治	●幡	鎌	好	彦	●宮	内	登	
秋	間	賀	徳	太郎	●大	野	浩	一	●小	嶋	靖	夫	高	高	橋	勉		●服	部	慶	市	●宮	川	良	
浅	賀	倉	総	治	●大	矢	進	吾	●小	高	義	臣	高	高	橋	修		●原	和	義	博	●宮	城	勇	
浅	倉	原	祥	吾	●岡	田	孝	道	●小	室	喜	平	滝	高	畑	哲	男	原	山	源		三	宅	啓一郎	
安	達	安	勝	雄	●荻	本	定	之助	●小	山	藤	純	武	口	井	龍	雄				任		下	重	
阿	妻	阿	富	夫	●小	本	誠	久					竹	井	龍	実	ヒ	土	方	国	洋	村	山	助	
阿	部	阿	靖	彦	●大	堂	盛	久	サ	●最	首	昭	和	竹	井	昌	広	平	井	和	元	ム	月	幸	
新	井	新	利	美		野		雄	●三	枝	雅	夫	一	武	内	昌	司	平	嶋	啓	男	望	正	臣	
荒	金	荒	勇	治		島			五	月	進	夫	夫	武	田	讓	智	平	野	龍	二	●森	頼	幸	
			真	弘	カ				坂	入	明	男	男	●田	島	一	一	平	畑	正	博				
イ	飯	田	春	雄		柿	国	収	●坂	本	辰	重	男	テ	勅	使	川	フ	野	辰	男	ヤ	矢	川	
飯	村	村	基	夫	●鹿	島	節	夫	●佐	久	重	男	男	●出	島	原	典	深	井	英	夫	矢	嶋	福太郎	
池	端	端	祐	久	●神	藤	祐	一	佐	間	弘	直	男	出	水	進	世	藤	兼	利	之	安	田	雄	
●石	井	井	博	巳	●神	山	鎮	夫	沢	味	治	男	男	●藤	倉	利	毅	藤	倉	貞	男	谷	田	憲	
●石	渡	渡	勝	次郎	●川	合	章	三		田	宣	茂	之	田	田	雅	拓	藤	倉	男	八	卷	邦		
●市	川	川	信	夫	●木	瀬	年	茂	シ	島	治	男	繁	●島	田	雅	二	藤	倉	男	山	口	克		
●市	川	川	康	憲	●木	村	悦	三	●島	田	宣	茂	之	嶋	田	雅	郎	藤	倉	男	崎	崎	俊	男	
●稲	見	見	嘉	英	●木	村	昭	義	●島	田	宣	茂	之	清	水	義	則	洞	口	芳	彦	ユ	結	城	
井	上	上	英	一	●木	村	義	男	下	田	欣	美	志	蕭		男	昇	本	野	輝	夫	●横	内	重	
猪	瀬	瀬	誠	誠		村	義										路		間	徹	也	吉	田	男	
														ノ	外	山	広	ホ				マ	渡	辺	
														中	山	誠	司	マ	洞	口	芳	ユ	結	城	
														長	尾	信	二	真	野	徹	夫	●横	内	重	
ウ	●植	木	淳	二	ク	久	我	茂	ス	●鄒	逢	有	ナ	中	山	誠	司	マ	洞	口	芳	ユ	結	城	
●梅	沢	沢	賢	治	久	保	田	良	●鈴	木	敏	一	●名	長	尾	信	二	真	野	徹	夫	●横	内	重	
					久	保	好	生	●鈴	木	敏	一	●名	長	尾	信	二	真	野	徹	夫	●横	内	重	
					九	里	昌	巳	●須	藤	昭	男	●蟻	川	和	男		前	鍋	喜	博	吉	田	男	
エ	榎	本	誠	四郎	黒	沼	保		杉	本	法	男	二	●蟻	川	和	男	松	鍋	喜	博	ワ	渡	辺	
													ノ	野	崎	幸	生	松	鍋	喜	博	渡	辺	昭	
オ	大	石	和	志	●河	野	俊		セ	関	山	博						●前	川	真	嗣			義	
	大	岡	進	一																				計158名	
	大河	原	行	雄																				(内新規納入者36名)	

計158名

(内新規納入者36名)

“おかげさまで創業40周年を迎えました”

自由ヶ丘

南国飯店

上海風味
中国料理

代表取締役 諸根 雄 (昭和53年卒)

◎大小個室宴会場
8名～100名様

◎P有

◎水曜定休日

◎ご予算等お気軽に
ご相談下さいノ

TEL.03-3722-3211

FAX.03-3722-3034

「ぐるなびHP」 <http://gnavi.joy.ne.jp/>

—— 自由ヶ丘駅下車4分 ——

東京都世田谷区奥沢5-40-12



Toho Industries & Co., Ltd.

東邦工業株式会社

- 業務内容：携帯電話用インサートナット
各種ステンレス精密部品
金属一般及プラスチック挽物
電話機メカ部品・精密インサート部品
- 使用機械：スイス型自動旋盤
NC複合加工自動旋盤
NC自動旋盤

代表取締役 土力 国任 (31年3月卒)

本 社 工 場／東京都目黒区下目黒2-12-3

TEL03-3490-1311(代)

大岡山工場／東京都目黒区大岡山1-6-10

FAX03-3490-3848

TEL03-3717-3153

FAX03-3717-6790

平成14年度 同窓会委員会の開催について

平成14年度同窓会委員会を、下記のとおり開催いたします。

各クラスの委員の方は是非、ご出席ください。

特に、平成12年・13年・14年に卒業された、各クラスの正・副委員の皆さんは、初めての委員会ですので欠席のないよう、お願いいたします。

記

- 日 時 平成14年6月29日（土） 午後3時～
- 場 所 目黒学院高等学校内 会議室
- 議 題
 - ①平成13年度決算報告の件
 - ②平成14年度予算案の件
 - ③役員改選の件
 - ④平成14年度同窓会総会・懇親会開催の件

**賛助会費の納入をよろしく
お願いいたします！**
賛助会費：一口1,000円

本年度よりすべての会員に、上記賛助会費のご協力をお願いすることになりました。一口1,000円で、口数は任意となっております。お志のある方は、複数口のご協力をよろしくお願い申し上げます。また、財政面で安定した本会運営を行っていくために、多数の会員諸兄のご協力をお願い申し上げます。

※納入にあたっては、同封の郵便局用「払込通知票」をご使用のうえ、お振込みください。

★同窓会ホームページのアドレス★
<http://www.meguro.ac.jp/kiri/>

編 集 後 記

もう何年になるのか、こうしてゴールデン・ウィークに会報の編集をするのは、いつもゴールデン・ウィークの1日は潰れてしまう。長いなァ～、でも後継の若い人がなかなか見あたらない。この編集の仕事はこれから誰がやるのだろうか。同窓会の役員もまったく同じ事が言える。学校のトップも新旧交代しているのに…！今さらこんな事言っても…！

ところで、今年は総会が規約改正により、2年毎の開催から3年毎の開催になった初めての開催で、会費についても少しは安くなりました。場所も渋谷駅からすぐの豪華な「セルリアンタワー東急ホテル」で開催。特に若い方の参加が多数あれば、との役員全員の気持から選定させていただきました。

とにかく堅苦しい事は考えずに、夏の夜の一時、渋谷で2時間だけ、高校時代に帰ってクラスメイトと共に参加していただければと思います。

役員一同心よりお待ちしております。

(Ryu)

★急募！ 同窓会活動に ご協力いただける人材★

対 象 年齢不問、同窓会の活動に関心のある方。
パソコン、インターネットに興味のある
方大歓迎。

連絡先 安 達 富 夫 TEL 090-4063-6580

●クラス会・同期会の開催状況をお寄せください！
本紙では、紙面の一層の充実を図り、会員にクラス会、同期会の開催状況を広くお知らせするために、投稿をお待ちしています。

〔要領〕

開催の様様（開催日時、場所、参加者数等）を、字数 1,000字以内にまとめ、写真を添えて投稿者の氏名、住所、電話番号、卒業年を明記して下記にお送りください。

〔宛先〕

〒153-8631

目黒区中目黒1-1-50

目黒学院高等学校同窓会事務局 まで